

headline

- ☑ 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書
- ☑ 事業活動報告
ゼロエミッション研究会
- ☑ 事業活動報告
森林保全活動 日向の森・海上の森



公益財団法人
Save Earth Foundation

トピックス

令和4年度版環境白書・循環型社会白書・ 生物多様性白書が公表されました(環境省)

6月7日、令和4年度版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書が閣議決定されました。

環境白書、循環型社会白書、生物多様性白書の3つの白書は、法律に則ってそれぞれ国会へ提出する年次報告書ですが、環境問題の全体像を分かりやすく示すために3つの白書を合わせて編集し、1つの白書としてまとめています。

今年の白書は、「グリーン社会の実現に向けて変える私たちの地域とライフスタイル～私たちの変革から起こす脱炭素ドミノ～」をテーマとしています。2030年までを「勝負の10年」として、国内外で「脱炭素ドミノ」を起こしていくために一人ひとりが、未来に影響を与える当事者であるという意識を持って行動し、脱炭素のみならず、資源循環、分散・自然共生という多角的なアプローチによってグリーン社会の実現を目指していくことが記載されています。



詳しくは下記リンクから環境省ホームページをご覧ください <https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/>

トピックス

令和4年度「食品ロス削減推進表彰」募集開始

環境省、消費者庁は、「食品ロス削減推進表彰」の応募受付を開始しました。食品ロスの削減の効果的かつ波及効果が期待できる優良な取り組みを実施した者を表彰することにより、国民運動として食品ロスの削減の取り組みを推進していくことを目的としています。

受け付けは8月12日までとなっております。ぜひ、自社の食品ロス削減の取り組みを広く周知する機会としてご活用ください。

募集の対象

食品ロスの削減の推進に資する取組を実施している者であって、食品ロスの削減に効果的かつ波及効果が期待できる優良な取組を実施した者。

詳しくは下記リンクから主催のホームページをご覧ください https://www.env.go.jp/recycle/food/commendation_R4.html



ご寄付いただきました。ありがとうございます！

賜りましたご寄附につきましては、美しい地球を子どもたちにのこすために、1円も無駄にすることなく、大切に使用させていただきます。

指定寄附：森林再生事業 ●株式会社クアッドアロー様 (75,000円)

ゼロエミッションの実現に向けて、食品小売業・外食産業の店舗から発生する廃棄物(特に食品循環資源)の発生抑制・資源循環・適正処理の手法を学ぶ場として、「ゼロエミッション研究会」を開催しています。

5月19日 第1回 勉強会

2022年度1回目となるゼロエミッション研究会を5月19日に開催しました。オンラインとのハイブリット開催となったため、35社76名と多くの方にご参加頂きました。今回は特別講演として、東京農業大学名誉教授の牛久保氏と株式会社ガイアドリームの志岐氏が講演されました。

「食品ロスの削減と食品廃棄物の資源循環利用」

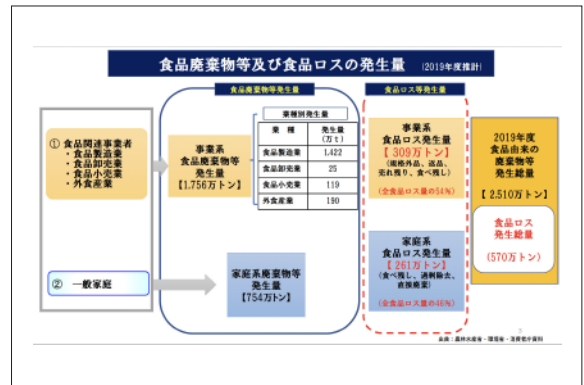
東京農業大学名誉教授 / SEF 顧問 牛久保 明邦氏

循環型社会形成を目指すにあたって、食品リサイクル法や食品ロスの実態、国内の食糧自給率と土づくり(農業の現状)など、幅広い情報が提供されました。2021年に策定された「みどりの食料システム戦略」でも、農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現や、化学農薬の使用量をリスク換算で50%削減、化学肥料の使用量を30%削減(有機物の循環利用)、2030年までに持続可能性に配慮した輸入原材料調達の実現といった内容が概要に記載され、未利用資源を再資源化する食品リサイクルループの価値がますます見直されるのではないかと予見される内容でした。

「廃棄物と資源化処理」

株式会社ガイアドリーム 代表取締役 / SEF 理事
志岐 秀明氏

廃棄物処理の課題について、専門家としての情報が提供されました。2030年SDGs 達成に向けて、排出事業者やリサイクラーは廃棄物を未来の持続可能な廃棄物処理とするためにどう対処していくべきかという大きな問いかけがありました。



食品廃棄物及び食品ロスの発生量

2022年度ゼロエミッション研究会 参加者募集

【日程】全6回 終了

- 第1回 5月19日(木)
- 第2回 7月21日(木)
- 第3回 9月15日(木)
- 第4回 11月17日(木)
- 第5回 1月19日(木)
- 第6回 3月16日(木)

【勉強会 会場】ワタミ株式会社 東京(大鳥居)本社

【参加費】70,000円

※賛助会員(民間団体)は無料

※別途:見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

- 【講師】
- ・百瀬則子氏
(SEF業務執行理事、ワタミ株式会社SDGs推進本部長)
 - ・志岐秀明氏
(SEF理事、株式会社ガイアドリーム代表取締役)
 - ・牛久保明邦氏
(SEF顧問、東京農業大学名誉教授)

ほか、資源循環・廃棄物関連専門家多数登壇予定

★概要をご確認のうえ、SEF ホームページからお申込みください。 <https://save-earth.or.jp/archives/8599>

森林再生事業 活動報告

日向の森・海上の森で 森林保全活動を実施しました！

日向の森・海上の森で森林保全活動

※2022年4月～6月

活動日	場所	イベント	参加人数	
4月	6日	日向の森	企業向け 保全活動	8名
	9日	日向の森	定例保全活動	11名
	23日	日向の森	定例保全活動	10名
5月	14日	日向の森	定例保全活動	7名
	15日	日向の森	植樹会	75名
	21日	日向の森	定例保全活動	9名
	28日	海上の森	森の健康診断	7名
6月	25日	日向の森	定例保全活動	22名



第5回みどりとふれあう植樹会

2021年4月～2022年6月末までの累計

日向の森 **398名** 海上の森 **35名**

◎千葉県山武市「日向(ひゅうが)の森」第5回みどりとふれあう植樹会

5月15日(日)に千葉県山武市の日向の森で、「グリーンウェイブ活動」の第5回みどりとふれあう植樹会を開催しました。SEFの会員企業様、森林サポーターや地域市民の方に参加いただき、落葉広葉樹と常緑広葉樹の苗木200本の植樹活動を実施しました。

※グリーンウェイブ活動：国連が「国際生物多様性の日(5月22日)」に世界各地で植樹会を実施することを定めた活動のこと。環境省、農水省、国土交通省等、植樹や森林づくりをした活動を促進するために「グリーンウェイブ2017」として、様々な団体に活動の参加を呼びかけし、SEFでも2017年千葉県のグリーンウェイブ活動より参加し、今年で5回目の開催です。

除幕式

日向の森での森林活動は、2012年より千葉県山武市と森林保全協定を10年単位で締結し、今年で11年目となります。森林保全協定の更新を記念し、千葉県山武市の上大川副市長にお越しいただき、代表理事の渡邊と除幕式を開催しました。



左から、ワタミ(株) 渡邊取締役、SEF 百瀬理事、SEF 牛久保顧問、SEF 渡邊代表理事、山武市 上大川副市長、山武市 中村部長、千葉県森林組合 那須様



ご協力いただいた皆様のおかげで、
2017年から継続している
山武市での植樹の累計本数は

910本
となりました！



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたり感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

<2022年7月～9月の活動予定>

●千葉県山武市(日向の森)

※引き続き、2018年の台風15・19号による被害を受けた人工林の復旧作業を中心とした活動を予定しています。

7月9日(土)、7月23日(土)

8月13日(土)、8月26日(土)

9月10日(土)

●愛知県瀬戸市

(海上の森)

9月24日(土)

※その他地域での活動予定については、SEF ホームページをご覧ください。

活動の詳細、お申込みはコチラ ▶▶ <https://save-earth.or.jp/event>

賛助会員・サポーター入会のご案内

SEFの活動は、皆さまからのご支援に支えられています。

「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・団体	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> ・食品リサイクルループ構築支援 ・「企業の森づくり活動」支援 ・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導 ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 		
	会員区分 年会費	特別賛助会員	1 □	500,000 円
個人	会員区分 年会費	賛助会員	1 □	50,000 円
		資源循環サポーター	1 □	50,000 円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1 □	50,000 円(森林再生事業に用途を限定)
	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 ・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行 		
		賛助会員	1 □	10,000 円
		資源循環サポーター	1 □	1,200 円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1 □	1,200 円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから→<https://save-earth.or.jp/member/apply>

